

持続可能な社会を目指しての廃棄物マネージメント および廃棄物エネルギー化プロジェクト

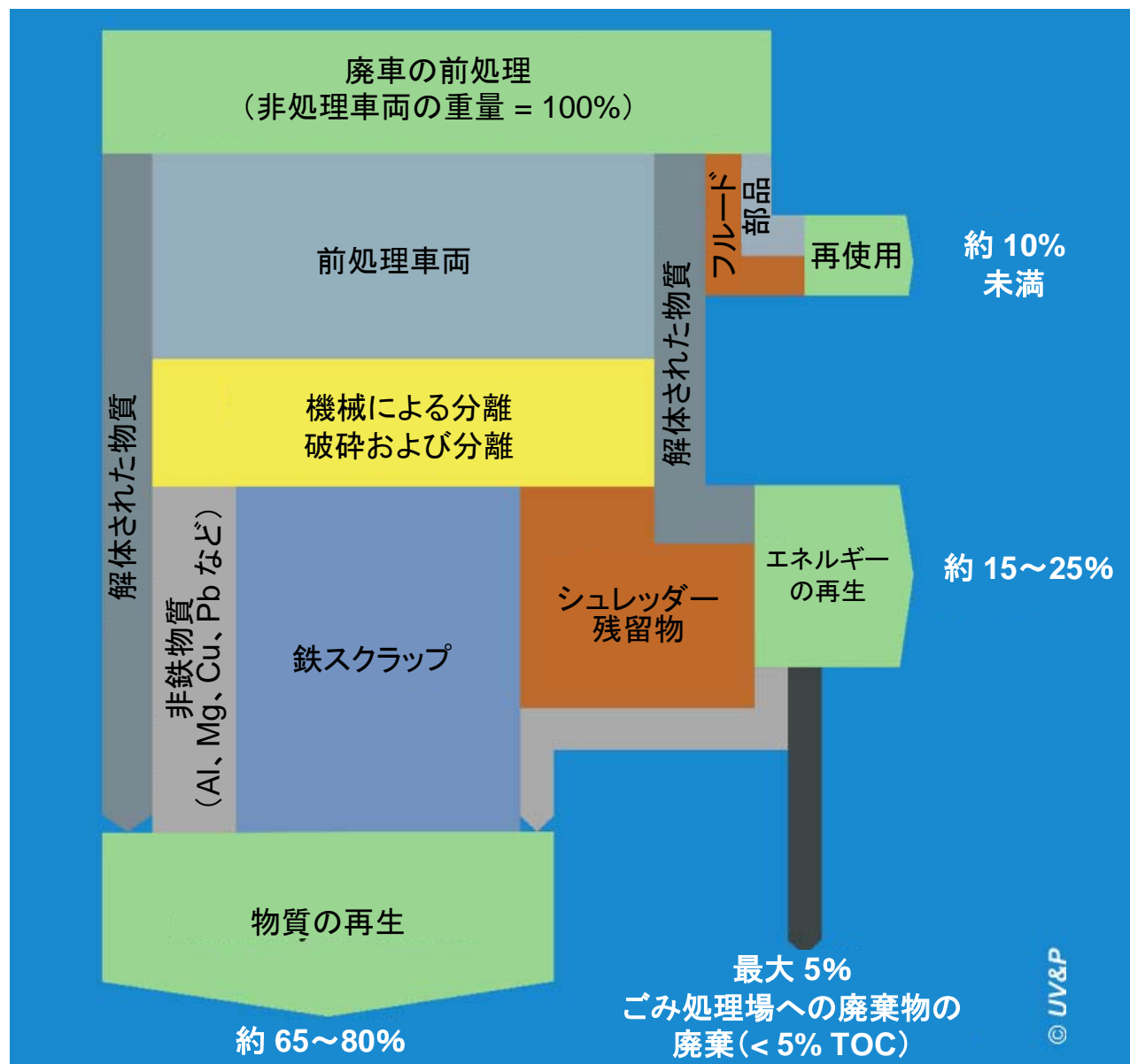
技術情報提供：日本 - オーストリア協同



UV&P Umweltmanagement - Verfahrenstechnik
Neubacher & Partner Ges.m.b.H.
A-1020 Vienna, Lassallestrasse 42/14
Tel. ++ 43-1-214 95 20, Fax ++ 43-1-214 95 20-20
franz.neubacher@uvp.at; <http://www.uvp.at>

- UV&P 社は環境マネージメント & エンジニアリングにおけるオーストリアの主要なコンサルティング企業です。
- 10 人のシニアエキスパートによるチーム – 全員が 20 年以上の実績を持っています。資源維持廃棄物マネージメントの開発では、廃棄物のエネルギー化プロジェクトと金属リサイクルが中心になっています。
- 日本との協力の主要点: シュレッダー残留物の熱処理 - 金属およびその他の非有機物質の再生

オーストリアにおける廃車の処理



EU 環境政策:

指定製品のあらゆる段階において、生産者による回収を義務化する傾向が拡大しています(「生産者責任」)。

廃車:

1. 部品の再使用:
自動車工場内とDIY作業による
2. 前処理:
危険物質および指定物質
(タイヤなど)の回収
3. 機械による破碎:
および物質の分離
4. シュレッダー残留物の処理:
再生用

2015 年の目標:

95% の再生(重量)

最先端技術：廃棄物エネルギー化計画 「エネルギーセンター 2009」(MMK 社)、オーストリア



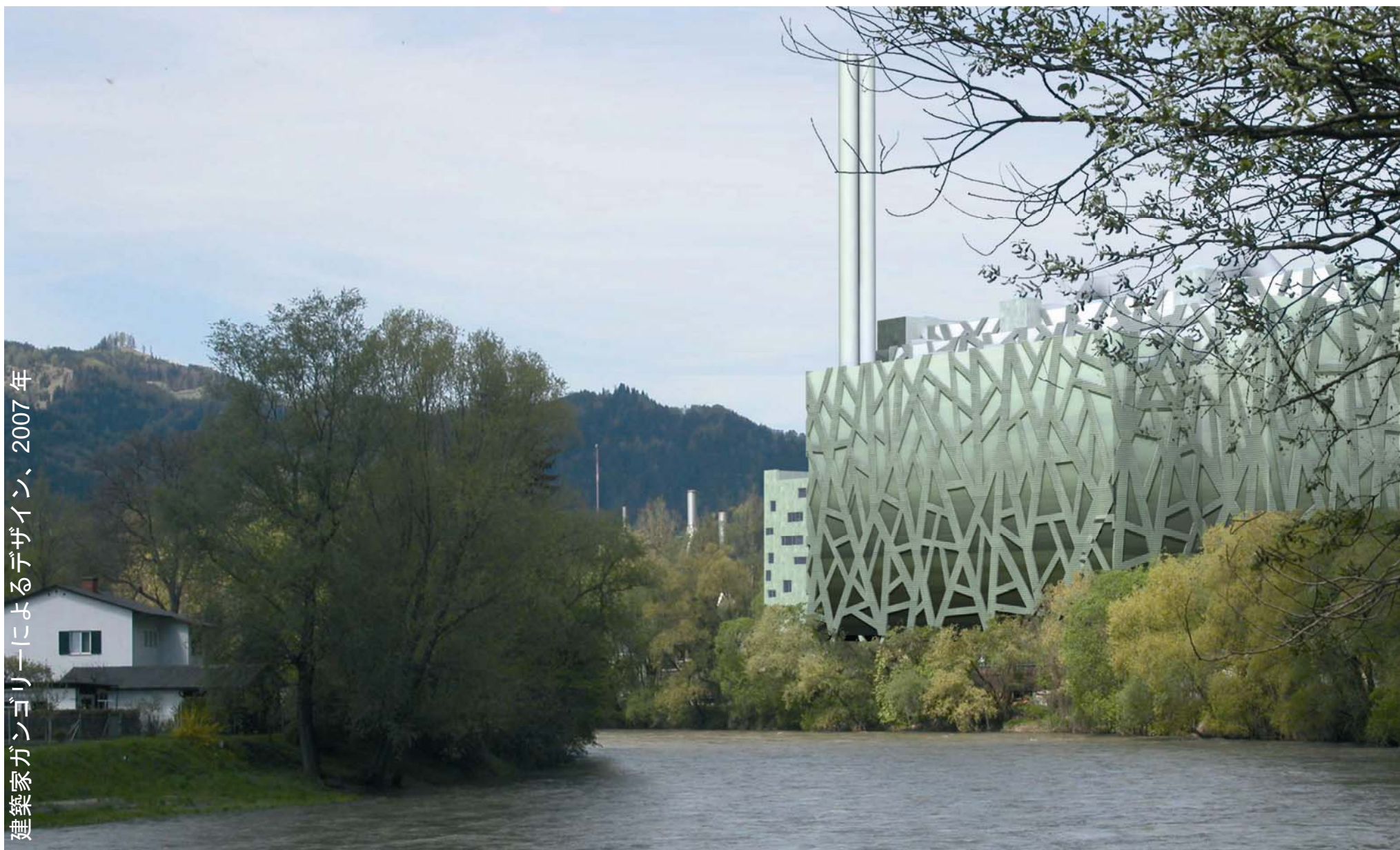
建築家ガングリーによる外観デザイン、2007年



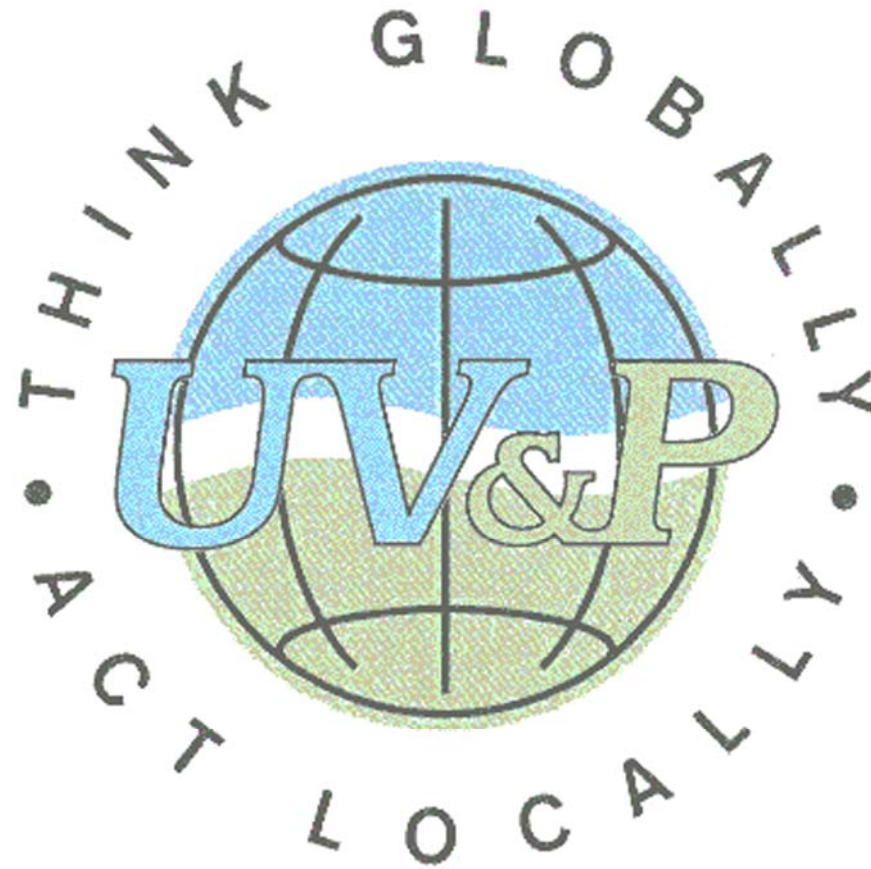
立案:	UV&P 2005年7月
操業開始:	2012年予定
テクノロジー:	流動層
容量:	2 x 80 MW
効率:	約 80 % (熱電併給)
スチーム産出:	190 Mg / h (70 bar、470°C)
平均 RDF 処理量:	1.360 Mg / d 未満
燃料:	廃棄物誘導燃料、 紙のリサイクルからの 残留物、木の廃棄物、 排水処理の汚泥
費用:	約 2 億ユーロ

オーストリア、フロンライテン、グシュベントベルクからの将来の展望

廃棄物エネルギー化プロジェクト MMK の将来の展望



建築家ガングリニーによるデザイン、2007年



当社は現地パートナーと常に協力関係を築きます